

教えるは 学ぶの 半ばなり

R5 南信教育事務所だより

# 教学半也



令和5年5月24日

No.2

令和5年4月11日 初任者研修 スタート研修

## 決意と感謝を胸に！

初任者研修にたずさわる  
全読者対象

4年ぶりに、全県の新規採用教員が一室に参集しました。南信地区会場となった長野県総合教育センター講堂には、緊張の中にも期待あふれる138名の初任者が集い、終日じっくりと研修を行いました。



つたえて



きいて



かかわって



なかまと共に踏み出す わたしたちの あたらしい一歩

## スタート研修を終えて ～初任の先生方の振り返りから～

学級とは？授業とは？改めて考えると答えに少し困ってしまいました。自分自身は学級・授業の中で何がしたいのか、子どもたちとどんな集団でいたいのか、**立ち止まって、自分の軸は何か**と深く考える必要があると感じた。

生徒たちの将来につながる生きる力をつけられる授業づくりをしていきたい。そのためには、自分の考えや表現を自由に発信できる安心感がある集団であることが大事。教科によって課題は異なるが、**目指すところは同じだ**と感じた。

先生方の振り返りからは、新しい地で始まった「教員」としての自分や、授業づくり・学級づくりなどの**方向性を探り始めている**ことがうかがえます。研修の中では、同じ思いをもった仲間と繰り返し語り合う機会をもつことで、次第に自分の考えを素直に言葉にしたり、相手の考えを自分に寄せて考えたりしながら、明日からの学校生活につなげていこうとする様子がありました。

各校ではこのような初任の先生方に、**どのような成長を望んでいるでしょうか**。例えば、初任者研修においては、下記のような歩みをイメージすることができます。

### 初任者研修における「初任者の歩み」



各校：初任研メンターチーム  
複数校：初任研コーディネーター

市町村：教育委員会、地区校長会  
県：南信教育事務所、総セ、体セ

※長野県教育委員会「令和5年度初任者研修の手引」より作成

「初任者の歩み」には、**多くの人との関わり**が欠かせません。また、各校で初任者と関わって共に学び、考えることは、**どの教員にとっても**キャリアステージに応じた課題解決につながる研修になります。各校の初任研メンターチームでは、メンターリーダーを中心にチームメンバーがそれぞれの役割をもちながら初任者をサポートすることで、共に学び、教員としての資質能力を高め、学校全体の活性化につながってきている様子が報告されています(★)。まずは、**初任者の声に耳を傾けるところから**始めてみましょう。

★初任者研修メンターチームの取組はこちらから  
南信教育事務所だよりバックナンバー  
(第6号、第10号、第12号等)



臨時的任用教員  
教職経験の短い方  
久しぶりに学校現場に復帰した  
方研究授業を行う先生方対象

諏訪地区・上伊那地区 授業づくり研修会プレ

# 試してみよう 工夫してみよう

～年度当初の悩みや課題の共有を通して～

授業づくり研修会は、**臨時的任用教員**の方はもちろん、**教職経験の短い方**、**久しぶりに学校現場に復帰した方**、**研究授業を行う方**など、**授業づくりを求める方**はどなたでも参加できる研修会です。

昨年度は、のべ112名の先生方に参加して頂きましたが、第1回の開催がGW明けとなり、先生方のニーズに合っていないという反省がありました。そこで今年度は、できるだけ**年度当初の早い時期**に行い、それぞれが抱える様々な不安や心配を語りながら**授業づくりや学級経営に生かすヒント**を学ぶ「**授業づくり研修会プレ**」を開催しました。

## 情報交換会①

学級に適應できない子どもに対する授業の工夫や対応はどうしたらよいでしょう。

今年度から初めて学校現場で働き始めましたが、何が悩みなのかもわかりません。

子どもたちが自分で考えられるような声掛けについて試行錯誤しています。

黒板をどのように使えば、子どもたちの理解が深まるようになるでしょうか。



中学校に初めて赴任しました。副担任になりましたが、どのように生徒と接し、担任の先生をサポートすればよいか迷っています。

算数が苦手なのですが、子どもに分かりやすく教えるにはどうしたらよいでしょう。

特別支援学級の社会科の授業の進め方について悩んでいます。

自己紹介を兼ねた情報交換①では、先生方の悩みや不安、またはこれから研修を積んでいきたいこと等を共有しました。「同じことを感じていました」「私も知りたいです」など、**自分一人だけが悩んでいるわけではないこと**、**共通する課題がある**ことを共有しました。校内でも悩みを打ち明けられる温かな同僚性づくりを今後もお願いします。

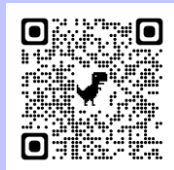
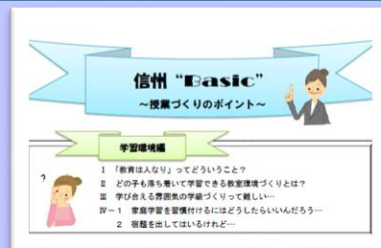
## 情報提供

情報提供では、長野県総合教育センターHPの「信州Basic」、長野県教育委員会HPの「信州型ユニバーサルデザイン 研修シリーズ」等、**授業づくりのポイント**につながる内容を紹介しました。先生方もぜひ参考にしてみてください。

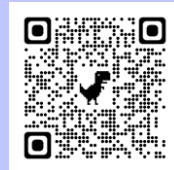
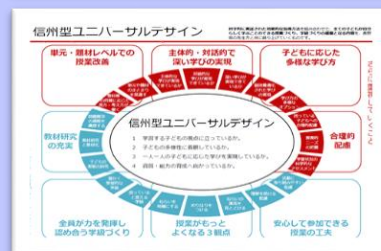
## 情報交換会②

情報交換会②では、各教科等で**より具体的な悩みや課題が共有**され、同じような経験をした先生から具体的なアドバイスがありました。

閉会式後に個別懇談を希望する参加者もあり、悩みや課題の解決に向けて、**一歩踏み出そう**とする姿が見られました。



「信州Basic」



「信州型ユニバーサルデザイン 研修シリーズ」

近隣の学校には、授業づくりについて、同じ悩みや不安をもっていたり、挑戦したいことがあったりする経験年数が近い先生方がいます。そのような先生方同士でつながり、自分の課題にじっくりと向き合うことを通して、**学んだことを明日からの授業で「試してみよう」**、そして試したことをもとに、**「更に工夫してみよう」**という意欲につながる授業づくり研修会にしていきたいと考えています。

今後の授業づくり研修会の予定を裏面に掲載しています。希望される先生は教頭先生にご相談ください。



# 授業づくりについて 一緒に考えませんか

## 令和5年度 諏訪・上伊那地区授業づくり研修会（臨時的任用教員研修会）年間要項

長野県教育委員会事務局 南信教育事務所

- ねらい** 教育公務員の責務や心構え，学習指導及び生徒指導等の研修をとおして，教員としての使命の自覚と職務能力の向上を図る。
- 主催** 長野県教育委員会事務局 南信教育事務所
- 対象** 諏訪・上伊那地区の小学校，中学校，特別支援学校の臨時的任用教員，採用年数3年程度の教員，教員免許状を再取得された教員，等で希望する者



### 4 研修概要

|     | 期 日                      | 会 場    | 内 容  |
|-----|--------------------------|--------|--|
| プレ  | 4月18日(水)<br>16:10~16:45  | オンライン  | 1 授業づくりのスタート<br>・自ら学び 力をつける研修についての情報提供<br>2 情報交換会<br>・スタートに当たっての不安や悩み等についての懇談  |
| 第1回 | 5月17日(水)<br>14:00~16:45  | 伊那合同庁舎 | 1 教員としての基礎（教職員としての姿勢・心構え）<br>2 授業づくりの基礎Ⅰ<br>・ねらいを明確にする授業<br>～「特別の教科 道徳」を事例に～<br>3 教科別演習（グループ懇談含む）<br>・持参した授業構想を基に教科ごとに構想<br>・日頃の取組や悩み等についての情報交換      |
|     | 5月22日(月)<br>14:00~16:45  | 諏訪合同庁舎 |  |
| 第2回 | 6月19日(月)<br>14:00~16:45  | 伊那合同庁舎 | 1 授業づくりの基礎Ⅱ<br>・ねらいを明確にし、めりはりをつける授業について考える<br>2 教科別演習（グループ懇談含む）<br>・持参した単元・授業構想を基に教科ごとに構想<br>・日頃の取組や悩み等についての情報交換                                     |
|     | 6月22日(木)<br>14:00~16:45  | 諏訪合同庁舎 |  |
| 第3回 | 7月27日(木)<br>9:00~11:45   | 伊那合同庁舎 | 1 授業づくりの基礎Ⅲ<br>・ねらいの達成を見とどける授業について考える<br>2 教科別演習（グループ懇談含む）<br>・2学期に実践したい単元・題材について教科ごとに構想<br>・日頃の取組や悩み等についての情報交換                                      |
| 第4回 | 11月13日(月)<br>14:00~16:45 | 伊那合同庁舎 | 1 教科別演習（グループ懇談含む）<br>・これから実践したい単元・題材や、これまでに行った授業の振り返りから来年度に向けた授業を教科ごとに構想<br>・日頃の取組や悩み等についての情報交換<br>2 情報交換会<br>・ICTの活用，評価のあり方等，日ごろの取組や悩み等について校種別に情報交換 |
|     | 11月24日(金)<br>14:00~16:45 | 諏訪合同庁舎 |  |

5月下旬に第2回のお知らせを予定しています。

※開催期日、会場とも、参加者の所属地区に関係なく、都合の良い方を選んで参加していただけます。  
※内容が変更になることもあります。詳しくは、研修会1ヶ月前を目途に配信される要項でご確認ください。

### 5 その他

- 各開催日の1ヶ月前を目途に、各校に開催要項をメール配信します。参加希望者は学校長の許可を得て、その都度、Google フォームに必要事項を入力し、申込期日までにお申し込みください。
- 旅費については、県費の常勤講師については、県の旅費より支給します。市町村費の臨時的任用教員は、学校長を通して市町村（組合）教育委員会と相談してください。
- 授業づくり研修会参加後に要望があれば、学校訪問をし、実践を通して支援を行います。

令和5年5月17日付け5広共第36号・5情法第26号「施行文書及び県公式ホームページにおける職員名の表記について」により、本稿の該当箇所はホームページ上では非公開とさせていただきます。

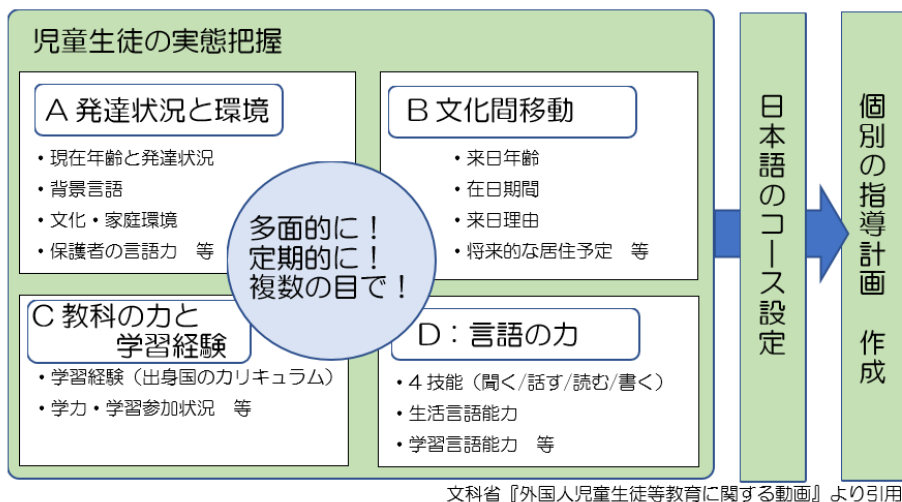
外国人児童生徒等に  
関わる皆さん

# ひとりで悩まずチームで支援を

～4/25 南信地区外国人児童生徒等指導者情報交換会～

南信地区では、外国人児童生徒等の指導や支援に関わる方々が参加できる研修会を年3回開催しています。今回は、「個別の指導計画と日本語指導の留意点」をテーマに情報交換を行い、各校の支援状況を知り、困ったときの相談相手として、互いの輪を広げました。以下、当日の情報交換会で見えてきた支援のポイントをまとめました。

## ポイント① 多面的な実態把握からの、個別の指導計画作成



「言語面ばかりに目が向いていましたが、**実態把握の観点**がわかり、文化面や発達状況等から多面的に実態を把握し、それに応じた個別の学習プログラムを作成することの重要性が分かりました。」



日本語教室担任



日本語教室担任

## ポイント② 校内連携と方向性の共有

長野県教育委員会 『適切な学びの場ガイドライン』より

### 中学校：教科担任者会で「配慮が必要な生徒」の検討を工夫した事例



担任

教科担任との連携の必要性は分かっているのですが、会議の時間を生み出せず支援内容の共有ができていません。



担任

定期的に実施している「教科担任者会」で先生方の工夫を出し合うことが、「個別の指導計画」の作成と活用につながります。



特 可



担任

これまでもやっていることを工夫するのであれば、やれそうです。



担任

まずは一人の生徒に絞って、「主訴、背景や要因、具体的な支援、評価」の視点で先生方の工夫を整理してみましょう。



特 可

#### 【作成と検討の手順】

- ①年度当初に職員会等で以下について共有する（特可）。
  - ・個別の指導計画の作成の意義
  - ・「配慮が必要な生徒」の記入の形式と例示
- ②教科担任者会で「配慮が必要な生徒」についての情報を共有する（担任）。
  - ・各教科での困難さ、意欲的に取り組む姿
  - ・考えられる背景要因と有効と思われる支援（生徒が意欲的に取り組んでいる教科から支援のヒントを探る）。
- ③教科担任者会での情報をもとに学級経営案の「配慮が必要な生徒」の項目を記入する（担任）。
- ④学期末の教科会で姿を評価し、支援を見返す（担任）。
- ⑤翌学期の学級経営案を修正する。

「中学校では、進路が関わってくるので、教科指導を含め、どのような進路実現に向けた支援ができるのか心配でしたが、『**適切な学びの場ガイドライン**』が参考になるとわかり安心しました。」

「私の町では、**社会福祉協議会と学校が協力**して、日本語支援を行っています。市町村担当者の参加が増えると、情報がさらに共有できそうです。」

## ポイント③ 外部関係機関とつながる支援

4/25 情報交換会には、日本語教室担任・教頭先生・教務主任・日本語支援員・通常学級担任市町村教育委員会・長野県国際化協会・地域支援員など、様々な立場の方にご参加いただきました。



町担当者

6月1日（木）はオンライン、10月19日（木）にはオンラインと参集での研修会を計画しています。授業実践や指導方法などの情報交換を通じて、新たな支援の情報やヒントを得ることはもちろん、参加者のつながりを広げる貴重な機会にもなりますので、ぜひご参加ください。

# 自校の人権教育の充実のために

## ～3年ぶりに集い、人権意識を高め合う先生方～

5月は、各地区で「学校人権教育研修・連絡協議会」を開催しています。5月16日（火）には、全地区の先陣をきって、諏訪ブロックと上伊那ブロック合同の本会が、総合教育センターにおいて開催されました。この会は、「学校人権教育研修会」と「第1回学校人権教育連絡協議会」と「市町村連絡会」の3つの会議で構成されています。いずれも、学校教育の基盤である人権教育を進める上で大切な会として位置づいています。人権教育の理解を深め、校種間相互の連携を進めることで教職員の人権意識を高め、それぞれの学校での人権教育の充実を目指す趣旨のとおり、全ての小・中・特別支援学校から参加された先生方の熱心な姿がありました。

### 学校人権教育研修会 講演会

車いすを使うことが「いやだな」という気持ちはありませんでした。歩く時に疲れることや転んで痛い思いをすることもなくなるので楽になりました。現在は、首から下は動きません。



多様性と助け合いの社会について語る講師の猪又竜さんと井出今日我さん（オンライン参加）

### 参加者された先生方の声

「車椅子の井出さん」「心臓病の猪又さん」ではなく、「～の」の区分けのない「井出さん」「猪又さん」でありたい。そのためには、**その人と関わり、その人そのものを知る時間が必要**だという言葉に納得した。

たくさんの人に出会っていくことが**共生社会への第一歩**だと改めて考えるきっかけになった。教育現場は、**重要な役割**を担っている。

いろいろな特徴の人と出会って**同じ時を過ごす**と「自分」がよく分かるという言葉が印象に残った。明日、子どもたちにも伝えたい。

共生社会を推進し、**前向きに活動**している当事者の方たちの**生の言葉**は、書籍や広報誌では得られない熱量を感じ、心に響いた。

### 学校人権連絡協議会



他地区の学校と交流して情報を得る先生方

他校の先生方に実践例をお聞きし、相談することで**見通しをもつ**ことができた。今後の活動を**積極的に考えていこう**と思う機会になった。

町として**力を入れている取組**について、直接聞くことができ、今後の**学習活動や職員研修を構想**する上で、とても参考になった。

### 市町村連絡会



市町村の方針を知り小中特支校の連携を図る先生方

人権教育を進める上で基盤となるのが、私たち教職員一人一人の人権意識です。社会における人権的な課題に対し、知り、考え、意見を交わし合うことで、人権に関する理解を深めることや人権感覚を磨く機会となります。この研修会・協議会においても、自分が変わっていきたい、子どもたちに伝えたい、学校に戻って研修メモを配りたいと考える先生方がいました。学校の代表としてご参加いただいた先生方のこの**学びが各校につながり、学校全体にひろがっていく**ことで、組織的な人権教育の推進や先生方の指導の充実に向かい、人権教育を通じて育てたい資質・能力「自分の人権を守り、他者の人権を守るための実践的行動」の育成につながっていくことを期待しております。

学校における人権教育の推進の際に参考になる資料等を紹介します

今回講演いただいたお二人の他、講師の講演を希望される場合は、「地域人権ネット」を参考にするか、心の支援課にご相談ください。



県教委HP「地域人権ネット」



人権教育の指導にはこの冊子が参考になります

県教委HPから改訂版がダウンロードできます

### 人権教育推進プラン

人権教育指導の手引 改訂版



### V 人権教育指導の手引 <学校教育編>

